

Contents

- 01 Enjoy! Arts & Entertainment
シネマの聖地!?
ロケ地をめぐる旅へ
- 05 Recommended Files 今月のオススメ
ヤンマーマリーナ 守山市
- 06 秋のKEIBUN文化講座Preview/新講師interview
日本ソムリエ協会公認ワインエキスパート
福田武さん
- 08 KEIBUN友の会会員特典のご案内
イベント/シネマ/アート/スポーツ/ゴルフ/
旅行/レジャー/健康/カルチャー/グルメ
- 25 プレゼント/Reader's Letters

●表紙【Amazing! Museum~感動空間への招待⑤】
ウフィツィ美術館(イタリア)

フィレンツェにある美術館。メディチ家歴代の美術コレクションを収蔵し、イタリ
ア・ルネサンス絵画の宝庫といわれている。展示物は約2,500点。すべてを見る
には1日では時間が足りないほど。見たい作品は事前に要チェックを!



Cinema Topics 映画『るろうに剣心』の
ロケ地となった滋賀県が
ロケーションジャパン大賞!!

映画『るろうに剣心 京都大火編/伝説の最期編』が昨年大ヒット。主
要なロケ地となった滋賀県の支援体制と観光誘客が評価され、今年
1月、雑誌『ロケーションジャパン』の「第5回ロケーションジャパン大賞
(グランプリ)」に輝いた。

ロケ地誘致と撮影支援を
行う滋賀ロケーションオ
フィスには現在約2,200
名の登録サポーターが
いる。県民がエキストラやボ
ランティアとして映像制
作の現場に関わっている
ことも大きいだろう。



映画のロケ地として人気を集めた日野城跡
(びわこビジターズビューロー提供)



シネマの
聖地!?
ロケ地をめぐる旅へ



娯楽が多様化する現代、映画は今も最上級
のエンターテインメントだ! 最近の日本映画
の中で、滋賀県で撮影された映画が多数ある
ことをご存知だろうか。なぜ県内のロケーシ
ョンが選ばれるのか。映画を通して滋賀の魅
力を再発見し、ロケ地をめぐる旅を楽しんで
みよう。

三井寺(大津市)で多くのエキストラを動員した
映画『幕末高校生』の撮影風景(滋賀ロケーションオフィス提供)

シネマの聖地!?! ロケ地をめぐる旅へ

オールファンも注目
ご当地映画、発掘!!

彦根城は時代劇だけじゃない!
『青い山脈』は全編彦根ロケ

彦根城は時代劇映画には欠かせないロケーションだが、若き日の吉永小百合の主演で再映画化された『青い山脈』(日活・1963年)は全編が彦根



彦根城

ロケ。舞台は架空の城下町(原作は東北)だが、ヒロインが通う女子高は現在の彦根西中学校、市内を眺望できる彦根城の鐘の丸をはじめ、芹川堤、金亀公園、湖畔の松並木など、城下町の風情がふんだんに盛り込まれている。往年の日活のスターたちが活躍する彦根の懐かしい風景に注目!!

長浜市民のロケ誘致で実現した
『男はつらいよ・拝啓車寅次郎様』



全国を放浪し、旅先の女性に恋をして、ふられてしまう国民的映画(寅さん)シリーズの47作目『男はつらいよ・拝啓車寅次郎様』(松竹・1994年)は長浜市民の熱心なロケ誘致で実現。曳山まつりの日に偶

然出会う寅さんと甥の満男のそれぞれの恋模様を描く。寅さんとマドンナ(かたせ梨乃)が出会うのは“隠れ里”で知られる菅浦。昨年、国の重要文化的景観に選ばれた。(寅さん)シリーズは主役・渥美清の死で次の48作目が最後の作品になった。

滋賀県出身・沢島忠監督の痛快時代劇
『冒険大活劇 黄金の盗賊』

中村(のちの萬屋)錦之介、美空ひばりらを主役に、徹底した娯楽時代劇を世に送り出した沢島忠監督は湖東町(現東近江市)の出身。『冒険大活劇 黄金の盗賊』(東映・1966年)は滋賀県で長期ロケを敢行した意欲作だ。琵琶湖に沈んだ豊田方の軍用金をめぐる痛快時代劇で、若き松方弘樹がスクリーン狭しと躍動



沖の白石

する。近江八幡の長命寺や沖島、多景島の西にある沖の白石など、琵琶湖を熟知した監督ならではのご当地映画の隠れた逸品だ。

びわこビジターズビューロー提供

報発信していくか。これが私たちの一番の目的です。映画を観たお客さまに滋賀県に目を向けてもらうことを常に考えています」と滋賀ロケーションオフィスの和田英之さんは話す。

アニメや漫画の場合は、聖地巡礼と呼ばれる、物語の舞台やモデルとなった場所を訪れるファンが増えている。実際、滋賀県でも『けいおん!』の旧豊郷小学校、『ちはやふる』の近江神宮などが大きくクローズアップされた。

物語そのものが滋賀というご当地映画はその訴求効果が大きい。小説やコミックなど原作の段階から仕掛けを試み、それを映像化につなげていく仕組み作りも始まっている。

「私たちの知っている風景が、映画ではいつもと違ったアングルで撮影されていて、いつもと違った表情になるんだと、す。あの場所がこんな表情になるんだと、

江戸時代、幕府公認の駆込寺として知られる鎌倉の東慶寺を舞台にした新作映画『駆込み女と駆出し男』(原田真人監督)が5月16日(土)に公開される。さまざまな事情で離縁を願う女たち(戸田

Step 3
 5月公開の話題作!!
**『駆込み女と駆出し男』
 でロケ地めぐりを**

新作映画に注目!!

「百濟寺では仁王門のシンボルである巨大なわらじをはずさせていただきました。何度も撮影でおつきあいがございましたので、快く協力いただきました」と和田さん。この他にも油日神社(甲賀市)や西教寺(大津市)、教林坊、西の湖、八幡堀(近江八幡市)など県内8か所が映画に登場する。

また、この夏は日本の終戦をテーマにした戦後70年の歴史超大作『日本のいちばん長い日』(こちらも原田真人監督)の公開も控えている。伊吹山麓に再現された焼け野原となった東京のオープンセットは必見!!

映像の血となり肉となるような素晴らしいロケーションをもつ滋賀の魅力その目で確かめてみよう。



映画『駆込み女と駆出し男』のワンシーン(出演/大泉洋、戸田恵梨香) ©2015『駆込み女と駆出し男』製作委員会



アニメ『けいおん!』で注目された旧豊郷小学校ではドラマ『田上トバース!』(NHK)の撮影も(滋賀ロケーションオフィス提供)

そんな風に見てもらえたらうれしい。まずは実際に映画を観ていただいて、ぜひそのロケ地に足を運んでみてください」と和田さん。その場所に立てば誰もがスターの気分。映画の一場面がよみがえってくるだろう。

「ロケ地を地域の観光資源としていかに活性化させるか、それをどのように情

Step 2
 あの場合
 あの場合
日常が映画の世界に

ロケ地を観光誘客に

撮影支援といっても一筋縄ではいかない。撮影スタッフからの問い合わせに、監督のイメージにふさわしいロケ地をいくつか紹介し、綿密なロケーション・ハンティング(ロケ地探し)を重ねる。国宝・重文級の建物でも長年の信頼関係から理解が得やすく、他県に比べて手続きもスムーズに。撮影になれば登録サポーターの中からエキストラも動員できる。こうした活動の成果が映画関係者の評判となり、ロケ地としての滋賀県の評価が高まっていった。

かつて京都は、日本のハリウッドと呼ばれ、映画会社の撮影所や製作プロダクションが集まっていた。隣県の滋賀は、琵琶湖のまわりに豊かな山河があり、城や寺社など歴史的な名所旧跡も多く、当時から京都の活動屋にとって格好のロケ地であった。日本映画の黄金期を支えた滋賀のロケーションは、現代に脈々と息づいている。

**ふるさとシネマパラダイス!!
 映画で滋賀の魅力を
 発見しよう!**



映画『駆込み女と駆出し男』(5月16日公開)は油日神社(甲賀市)でも撮影された(滋賀ロケーションオフィス提供)

「彦根を映画で盛り上げる会」は平成23年、彦根市で戦国グッズ店を営む目加田宗彦さんが有志とともに結成した市民のボランティア団体。すでにテレビドラマも含めると15本ほどの作品の撮影に関わってきた。総勢100名にもなる映画撮影スタッフのために予算内でおいしくて温かいお弁当を手配したり、シーンに合うエキストラを集めたり、ロケ地の相談にのったりと種々雑多な要望に対応し、撮影をサポートしている。

きっかけは映画『火天の城』（2009年公開）が安土で撮影されたときのこと。「当時の安土町役場の人たちと一緒にロケ地めぐりツアーを企画するなどしているうちに映画製作スタッフとの交流が深まり、次第に有志が集まり、会を立ち上げたんですよ」と目加田さんは話す。

意外にも、もともとは映画より歴史好きなのだそう。

ロケ隊を助けるボランティア みんなで楽しんで街を元気に!

彦根を映画で盛り上げる会代表

Close Up
Interview

目加田宗彦

「彦根は歴史のある街。それを映画で活かせないかな、みんなにもっと歴史に親しんでもらいたいなと思っていました」

会のメンバーは現在15名。それぞれ自分の仕事を持ちながら活動している。

「直接に経済効果があるというよりも、みんなが楽しんで気持ちがちよっと上向くといいなと。住民自らがどうすれば町の人を呼び込めるかを考え、行動することが大事だと思います」

撮影に協力したことで住民

の日常生活でのモチベーションが上がり、それが彦根を訪れた人を温かく迎えようという気運につながっていくと目加田さんは考えている。

「監督やプロデューサーはみんな『滋賀はいい』といわれます。神社仏閣やお城など本物があつて、実際に生活している人たちがいて、住人が大事に守り続けている伝統がある。そういう地域の力があつて初めて、その情景が映像で生きてくる。実は、滋賀にはそういう場所が多いんですよ!」



彦根市の花しょうぶ通り商店街にある戦国グッズ販売店「しょうぶ屋」を営む。映画『火天の城』をきっかけに2011年「彦根を映画で盛り上げる会」を発足。滋賀ロケーションオフィスと連携しながら、これまで多くの映画、ドラマのロケ撮影に関わる。

Information

「駆込み女と駆出し男」 5月16日(土)公開

■脚本・監督／原田真人 ■原案／井上ひさし
■出演／大泉洋、戸田恵梨香、満島ひかり、樹木希林、堤真一、山崎努 他

鎌倉の東慶寺は離縁を求める女が駆け込んでくる尼寺。ただし、駆け込めばすぐに入れるわけじゃない。御用宿と呼ばれるところで、聞き取り調査が行われるのだ。駆け込む女たちの別れの事情はさまざま。御用宿の居候にして、医者見習い&駆け出しの戯作者である信次郎が、主人の源兵衛と共に夫婦の絡んだ糸を解いて女たちの人生の新たな出発を手助けしようと、あれこれ戦法を練っていく…。井上ひさしの「東慶寺花だより」を原案に、「わが母の記」の原田真人監督がメガホンをとる。

©2015「駆込み女と駆出し男」製作委員会

上映劇場

- ユナイテッド・シネマ大津
- 水口アレックスシネマ
- イオンシネマ草津
- イオンシネマ近江八幡
- 彦根ビバシティシネマ
- 敦賀アレックスシネマ

全国の上映映画館でご利用いただけるチケットを特別価格で販売します

31696 特別鑑賞券 2,200円(一般2枚セット)

※24ページの申込用紙にサービスコードと劇場名欄に「駆込み女と駆出し男」とお書きください。2枚セットでのお申し込みとなります。

※「3,000円相当の割引」特典はご利用いただけません。

※ご利用いただける作品は「駆込み女と駆出し男」に限ります。



©2015「駆込み女と駆出し男」製作委員会